



## キリスト者共同体東京集会

# 2016 年夏のご案内

### 夏の日に福音を読む

7 月末から 9 月末のまでの 10 週間、聖化式で読まれる一連のペリコーペは、外なる世界の太陽の歩みに照応するように、内なる太陽の現れと成長を明らかにしてくれます。この内なる太陽を夏の日々に見つめるならば、秋に向かって魂の目覚めは力づけられます。今年は四回にわたって、その週のペリコーペを深める時間をもつ予定です。いつでもご参加ください。

|             |            |
|-------------|------------|
| 7 月 31 日(日) | マタイ福音書 7 章 |
| 8 月 7 日(日)  | ルカ福音書 15 章 |
| 8 月 21 日(日) | ルカ福音書 18 章 |
| 8 月 28 日(日) | マルコ福音書 7 章 |

☆それぞれ聖化式後、昼間での予定です。

|             |                  |
|-------------|------------------|
| ■8 月 6 日(土) | 10:30 広島原爆の日の聖化式 |
| ■8 月 9 日(火) | 10:30 長崎原爆の日の聖化式 |

8 月 13 日(土)～15 日(月)

### お盆講座「人生における変容」

輿石祥三、輿石麗

私たちの人生も、取り巻く世界も、ひとときとして静止することはありません。ちょうど自然界が太陽に導かれて変化していくように、人生における変容にも、それを導く神的な太陽の力、キリストが働いています。本当の意味での「救済」とは、何か完結した世界に私たちが生きることではなく、キリストとともに世界も私たちも「変容していく」ことの中にあるのです。

春のゴールデンウィークの講座では、 sacrament に用いられる 7 つの物質を通して、自然界における変容に取り組みました。今回は、自然の変容だけではなく、メルヒェン、さらには人生における変容と、それを導くキリストについて考えてみたいと思います。

お盆の日々の東京は、不思議な静けさに包まれると共に、戦争から 71 年にもあたり、死者達の記憶も深まる特別な時間です。三日間を共に過ごすことが、秋からの心の力となればとてもうれしいです。

| 日程      |             |             |
|---------|-------------|-------------|
| 13 日(土) | 10:30       | 人間聖化式       |
|         | 13:00～15:00 | 自然界と人間界の変容  |
| 14 日(日) | 10:30       | 人間聖化式       |
|         | 13:00～15:00 | メルヒェンにおける変容 |
| 15 日(月) | 10:30       | 人間聖化式       |
|         | 13:00～15:00 | 変容の主、キリスト   |

# 日独交流会へのお誘い

9月4日(日) 10:30 人間聖化式

聖化式後 訪問の皆様との合同昼食会、その後に座談会の予定

この度、毎年集会所を訪問して講座をしてくださっているミュンヘン在住の吉田和彦さんが、ドイツのキリスト者共同体関係の皆様との日本旅行の最後に、久が原集会所を訪れてくださることになりました。大半がキリスト者共同体や人智学関係での多彩な活動をなさっている皆様とのことで、いつもはなかなか聞けないような興味深いお話をうかがえることと思います。私たち日本の者として、歓迎の意を表しつつ、新鮮な出会いを楽しむことができるのではないかと期待しております。どうぞ皆様、ふるってご参加ください。

キリスト者共同体東京集会 興石祥三、興石麗

吉田和彦さんからの手紙

キリスト者共同体・東京集会の皆様

2008年夏にキリスト者共同体・ミュンヘン中央集会の会員や司祭を中心とした22名ものメンバーで旧・水道橋集会所を訪れ皆様と楽しい2日間を過ごしたあの時以来、直ぐにでももう一度日本を訪れたいという参加者の声が絶えませんでした。それを実現する為に計画に乗り出そうとしていた矢先の2011年に東日本大震災とそれに伴う福島原発事故が起こり、我々ばかりではなく多くの日本を愛するヨーロッパ人が日本旅行を断念せざるを得なくなりました。5年経った今でも福島の汚染問題は何の根本的な解決にも至っておらず、また被災地では多くの人々が未だに仮設住宅での生活を強いられています。その様な状況にありながらも前回の参加者の中から改めて日本を訪問したいという声が強まり、約1年前からこの夏のおよそ3週間の日本旅行を計画して参りました。結果的には日本への再訪問を強く希望し他の参加者を募っていた中心メンバーの数人が家庭の事情などで旅行を断念せざるを得なくなり日本を再訪問するのは2名だけとなってしまいました。また今回のグループはミュンヘン・アウグスブルク・シュトゥットガルトからの参加者が混ざっており私と妻を除いて10名と小さくなりました。

その中にはしかし、シュトゥットガルト司祭養成大学(プリスターゼミナール)の建物管理責任者、或いはその元学生で現在は養護教育に携わっている人、シュタイナー学校で宗教(キリスト者共同体)とフランス語を授業している教師、ドイツ・シュタイナー学校のオイリュトミー療法学会を私の妻と共に主宰しているアントロポゾフィー医師、ミュンヘンのアントロポゾフィー協会を始め多くの施設の会計をボランティアでこなしている税理士、芸術療法士、そして幼児教育者等、アントロポゾフィーの各分野で日常の仕事をしている人たちが含まれており、ただの観光旅行の為にだけ日本を訪れるのには勿体ないメンバーなのです。

グループは旅行最後の5日間を東京で過ごしますが、ドイツ帰国前日が丁度9月4日の日曜日ということもあり、この機会に是非東京集会を訪れて皆様と交流出来れば素晴らしいと思いました。そこで人間聖化式と合同昼食会の後、キリスト者共同体やアントロポゾフィーに関するテーマについて気楽に話し合ったり質疑応答することが可能な座談会をもち、その最後を参加者全員によるリズム練習若しくは合唱などで締めくくる午後のひと時を計画しております。なかなか聞く機会がないアントロポゾフィーに於けるお金の考え方や建物の美化についての話なども出てくることかと思われます。旅行メンバーは日に日に迫る日本旅行とそれに伴う久が原の新しい東京集会所での皆さまとの出会いを楽しみにしておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

---

以上の催しは久が原集会所で行われます。入場無料、会場にて自由なご寄付をお願いします。

キリスト者共同体東京集会 久が原集会所 〒146-0084 東京都大田区南久が原 2-16-19 1F  
Tel/Fax : 03-3757-4917 tokyo@irisutoshakyodotai.org <http://www.kirisutoshakyodotai.org>